

人権啓発DVD・ビデオソフト貸出

堺市人権推進課では、
人権啓発DVD・ビデオソフトを
無料で貸出しています。

※DVDは日本語音声のみで外国語対応はありません。

貸出作品の一覧は

堺市人権啓発DVD・
ビデオソフト貸出

Q 検索

【お問合わせ先】堺市人権推進課

TEL 072-228-7420

FAX 072-228-8070



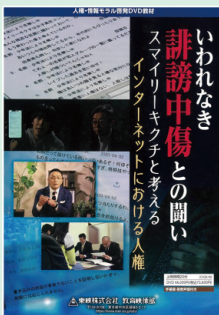
DVD

約
20分

言われなき誹謗中傷との闘い

1999年、お笑い芸人として活躍するスマイリーキ
クチさんが、実は凶悪事件の犯人であるという根拠
のないデマがネット上で
発信された。次第に誹謗
中傷は拡大し、仕事にも
支障をきたしはじめる。警
察にも相談し、ある刑事
との出会いが事態を大き
く変えていく。

スマイリーさんに、この
事件をめぐる解説をして
いただき、ネットの誹謗中
傷と、わたしたちがどう向
き合っていくか、考えるた
めの内容となっています。



堺市人権相談ダイヤル

(堺市人権推進課内)

※LGBTQなど性の多様性に関する相談を含む

相談 無料

まずは
電話してください。



☎072-228-7364

堺市人権相談ダイヤル

Q 検索

【相談日時】

・月曜日から金曜日まで
(ただし、祝休日と年末年始を除く)
・ 9:00～12:00、
13:00～16:30
・おおむね1回 30分



DVD

約
120分

破戒

島崎藤村『破戒』を間宮祥太郎主演で映画化した
作品。瀬川丑松は、自分が被差別部落出身というこ
とを隠して、地元を離れ、
ある小学校の教員として
奉職する。彼は、その出自
を隠し通すよう、亡くなっ
た父からの強い戒めを受
けていた。

「なぜ自分の故郷を語
れない。なぜ好きな人に
気持ちを伝えることがで
きない。」と自らの出自に
苦悩し、最後にある決断
をする。



セーフシティさかい



堺市 性暴力相談

Q 検索

堺市では、女性や子どもをはじめ、すべての市民にとって安全・安心に暮らせる社会の実現をめざし、
「セーフシティさかい」の取組を推進しています。

取組の一つである性暴力被害者への支援では、被害者の心身回復のための相談・支援体制の充実や、性
犯罪被害に対する社会の偏見をなくし、理解を深めるため、啓発等を行ってきました。

今後も、女性や子どもに対する暴力の根絶に向け、取組を推進していきます。



堺市人権協だより vol.46



人権協だより
バックナンバー

こころの響き

わたしたちのまち堺から
人権文化の花を咲かせよう

多様性を尊重し、互いの違いを認め合うことで、
より豊かな社会を築くことができます。

堺市人権教育推進協議会(略称:人権協)とは

人権協は部落差別をはじめ、一切の差別をなくし、すべての人の人権を守るため、1979年7月に
発足した市民組織です。各種市民団体、企業、宗教法人等の多くの方々により構成され、すべての
人の人権が尊重される平和で豊かな社会をつくるため、様々な人権啓発活動を推進しています。

人権協のシンボルマークは、人と人が手を取りあい、人権を守り、世界の平和を願う姿をあらわしています。



会長 金丸 尚弘

役員

会 長 金丸 尚弘
(堺市人権教育推進協議会企業部会)
副会長 久保 照男
(堺市自治連合協議会)
副会長 大町 むら子
(堺市女性団体協議会)
副会長 黒田 聡
(堺市PTA協議会)
副会長 白本 忠史
(堺市保育会)
副会長 柏原 秀和
(堺市立校園長会)
副会長 中田 理恵子
(部落解放同盟大阪府連合会堺支部)
副会長 吉村 誠治
(堺市人権教育推進協議会宗教部会)
会 計 小山 敏美
(堺市更生保護女性会)
会 計 森内 啓子
(堺市人権擁護委員協議会堺市地区委員会)

加盟団体

人権協は28団体に加盟していただいています

・堺市更生保護女性会
・堺市在日外国人教育研究会
・堺市社会教育委員会議
・堺市私立幼稚園連合会
・堺市青少年指導員連絡協議会
・堺市農業協同組合
・堺市保育会
・特定非営利活動法人さかい民間教育
保育施設連盟
・堺商工会議所
・一般社団法人堺市老人クラブ連合会
・堺地区行政相談委員会
・社会福祉法人堺市社会福祉協議会
・自由同和会大阪府本部堺支部
・株式会社URコミュニティ西日本支社
泉北住まいセンター
・堺市こども会育成協議会
・堺市自治連合協議会
・堺市女性団体協議会
・特定非営利活動法人堺障害者団体
連合会
・堺市人権教育研究会
・堺市PTA協議会
・一般財団法人堺市母子寡婦福祉会
・堺市民生委員児童委員連合会
・堺市立校園長会
・堺市人権擁護委員協議会堺市地区委員会
・堺市保護司会連絡協議会
・一般社団法人大阪府専修学校各種
学校連合会
・大阪府立学校長協会 第8地区
・部落解放同盟大阪府連合会堺支部

堺市人権教育推進協議会

堺市堺区南瓦町3番1号 堺市人権推進課内
TEL 072-221-9280 FAX 072-228-8070

編集・発行 (2025年3月発行)

人権協ホームページ <https://www.jinkenkyo.jp>



2024年度活動報告

全体研修会 (2024年8月19日堺市産業振興センター)

一般社団法人 日本メディアリテラシー協会 代表理事 寺島絵里花さんに、「SNSやネット上の情報の取捨～メディアリテラシーと人権～」というテーマでご講演いただきました。ご講演を通して、SNSからの情報に騙されないために必要な知識や意識などについて学びました。



人権を守る市民のつどい (2024年12月8日堺市総合福祉会館ホール)

第1部「わたしからの人権メッセージ」表彰式では、応募総数5,361点の中から選ばれた特選作品20点について、表彰しました。また、代表4名の方に作品の発表をしていただき、強く心を打たれました。

第2部では「メディアと人権」が専門の渡辺真由子さんによる「深刻化するネットいじめの現状と大人の役割」について、事例を挙げた分かりやすいご講演をいただきました。人権を守る市民のつどいの開催にあたり、ご支援・ご協力賜りました関係者の皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

※上記以外にも人権協では様々な取組を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。(URLは1面に記載しております。)



インターユース堺 部会

部会長 白本 忠史

「インターユース堺」は、「人権啓発活動」「交流活動」「社会貢献活動」を三つの柱として、青年に様々な社会参加の場を提供することにより、自らが主体的に考え、行動していくことの大切さに気づき、多様な人々との交流や連帯を経験することで、優れた人権意識と国際感覚を身につけ、平和や人権が尊重される社会の実現に貢献できる人材の育成を目的としている団体です。

前身の「国際青年年堺連絡会」発足から40年間、様々な事業を展開し、400名以上の青年が参加してきました。インターユース堺を経験した青年の中には、その後の進路において、JICA(国際協力機構)の海外協力隊など、深く国際貢献に関わる者や勉強に励み他国への留学を選んだ者、公共の福祉のため堺市職員や看護、教職の道に進んだ者など多岐にわたっています。



2024年度の活動

新型コロナウイルス感染症の2類から5類への移行に伴い、今年度団員募集を再開し、海外スタディツアーにかかわる新たな国際交流活動の形として国内でのフィールドワークや人権研修に取り組みました。第16期団員は大阪生野コリアタウンフィールドワークや大阪YMCA日本語学校留学生との交流、外国にルーツのある子どもたちとのイベントなどを行いました。日本で生活しておられる外国にルーツのある方々との交流を通じ、文化の違いや日本で生活する苦勞、未来への思いなどを聞きながら、深く学びました。実際に生活の場を見ることが各国との交流の歴史を知る、当事者の声を聞くことなどの重要性に改めて気づくこともできました。

また、秋には交流活動を含めた様々な研修で得た経験を、広く市民の方々に発信するため、区民まつりでのパネル展示や小学校での出前授業も行いました。

IYSでは、多文化共生社会の実現をめざし、これからも「人とつながる・相手の立場で考える・学び続ける」精神を大切に青年育成に取り組んでまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



第45回「わたしからの人権メッセージ」特選作品の紹介

親からの花丸

たきの ゆめ
高校二年 瀧野 結愛



みなさんに質問です。「どうせ無理。」「こんな自分なんて。」と思うのが癖になってませんか。

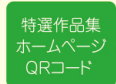
私は思っていました。というか、今でも思います。そう思うのはあまり良くないと分かっているつもりで思っています。なぜなら、親から否定されるのが怖いからです。何か挑戦してみようと思っても、親から「どうせできないよ。」と言われるだろう、だったら、どうせ自分は無理なんだと思ってしまいます。それがどんどん癖になって、思わないようにしてもなかなか抜けられません。親のせいにしたいたかそういうことではなく、親からの発言に全てを否定されているように感じてしまうのです。「どうせ、あなたは無理。」「こんな出来てあたり前。」など言われると自分に自信がなくなり、自分の事なんてどうでもいいやと思うようになり、ずっと親の言いなりになってしまいます。

子どもからしたら、「あなたなら出来る。」「頑張ってね。」と言われたかっただけなのに、想定外に心をえぐってくる言葉を言われるのです。その気もちが親には分かりますか。親の発言でどれだけ心をえぐられてきたか、分かりますか。もしかしら頑張るってできるようになるかもしれないのに勝手に親から無理と何も根拠もなしに決められる気持ちを考えた事がありますか。それで自分のやりたい事を我慢して親の言いなりになる子も沢山いると思います。それは親から「よく頑張ったね。」と笑顔で言われたいから、自分の気持ちを殺して頑張っているんです。私も実際にそうだったからです。でも、それはとても苦しくて、こんなに頑張ったのに「こんな出来てあたり前。」と認めてもらえなくて、結局、また、自分の気持ちを殺して頑張ることになります。子どもはただ親に認めてほしかった、自信がほしかっただけなんです。

だから、親にお願いします。子育ては凄く大変かもしれないけれど、子どもはこれからどんどん成長していきます。たくさん失敗したり、出来なかった事が出来るようになったり、自分の気持ちをはっきり言えるようになっていくと思います。そのたびに花丸をあげてほしいです。「よく頑張っているね。」と声をかけてあげて下さい。子どもに「どうせ無理。」「こんな自分なんて。」と思ってほしくないです。どうか、「あなたなら出来る。」「自信をもって、大丈夫。」と言ってあげて下さい。



応募数
5,361点の
作品のうち、
20点の特選
作品を掲載
しています。



特選作品集
ホームページ
QRコード
<https://www.jinkenkyo.jp/past-message/>

戦後80年 平和の灯を未来へ



令和7年(2025年)は、先の大戦の終わってからちょうど80年の節目の年となります。私たちはあらためて過去の戦災を振り返り、その記憶を心に刻み、平和な社会を実現していかなければなりません。戦争の悲劇は決して忘れてはならない教訓です。私たちはその痛みを共有し、平和の尊さを再認識し、共に平和な未来を創り上げましょう。